

みんなのしあわせ

主な内容

- 自立相談支援室 2～3P
- みと社協NEWS 4～5P
- 第55回水戸市社会福祉大会 6P
- ご芳志ありがとうございました 7P
- ボランティアセンターだより 8P

災害・減災を考えよう

～大切な一人ひとりを守りたい～

本会では、身近な地域での支え合い助け合いを目指して、災害や減災を地域へ伝える機会を設けています。

8/3

柳河地区教養講座



職員を講師に派遣 災害への備えを伝えました

8/30～9/14

いきいき交流センター常澄 防災パネル展



防災クイズにチャレンジしました

8/7

支部役員研修会



日赤の講師から避難行動について教わりました

8/26

職場内研修



職員同士で発電機の使用を確認しました

～生活にお困りの方への相談・支援を行っています～

自立相談支援室



自立相談支援室とは

水戸市役所内(2F)に相談窓口があり、様々な理由で生活に困っている方からの相談に応じるところです。ご本人に寄り添った支援を行っています。



自立相談支援事業

生活に困っているご本人やご家族、その他の関係者から広く相談に応じるとともに、生活困窮者が抱える複合的な課題を一緒に考え本人の意思を確認したうえで支援プランを策定し、課題解決に向けて継続的に支えていきます。

住居確保給付金

離職、自営業の廃業等により、経済的に困窮し、住居をなくした方または、なくすおそれのある方を対象として、家賃相当分の給付金(上限あり)を支給するとともに、就労支援等を実施し、住居及び就労機会の確保に向けた支援を行います。

申請をする場合は、離職等から2年以内、申請者及び申請者と同一の世帯に属する方の収入や所有する金融資産の合計額等の条件があります。詳しくは、お問い合わせください。

一時生活支援事業

一定の住居を持たない方で金融資産や収入額が一定額以下の方に対して、一時的な生活の場として宿泊場所や食事等の日常生活に必要な支援を提供します。利用期間は原則3か月間で、利用期間中に一般就労に結びつくよう就職活動を支援し、生活状況の見守りをします。

食糧支援

NPO法人フードバンク茨城と業務提携し、現金や預貯金、食料品が無い方に対し、一定期間の食料品を提供します。各ご家庭の生活状況を確認し、アレルギーの有無、使える家電や設備等を考慮しお渡しする食料品を選択し提供しています。



フードバンク茨城からの食料品



カセットコンロの貸出も行っています



就労準備支援事業

就労に向けた課題を抱える方に対して、1年間を基本とした集中的かつ計画的な支援及び訓練を行います。

支援プランを作成し、就労意欲の喚起、就労に必要な基礎能力の形成を図りながら一般就労につなげる支援を行います。その支援は、大きく3つに分かれます。

○日常生活自立支援

起床や就寝、社会生活に必要な身だしなみを整える等の生活習慣の形成及び回復を図ります。

○社会生活自立支援

社会的つながりの重要性の認識や就労意欲の喚起を図るためのボランティア活動、職場訓練等を行い、社会参加能力の習得を目指します。

○就労自立支援

模擬面接の実施や就職活動に向けた技法知識の習得等の一般就労に向けた具体的な準備支援を行います。

家計改善支援事業

仕事や家族、精神的な問題等により家計に課題を抱える生活困窮者の相談に応じ、相談者とともに家計状況を明らかにし、生活再建に向けた意欲を引き出せるように専門的な助言等を行います。

○家計管理に関する支援

- ・家計表やキャッシュフロー表の活用にて家計の見える化
- ・出納管理をしながら、ご本人による家計の管理支援

○債務整理に関する支援

- ・多重債務等により消費生活相談の紹介
- ・法テラスの活用、弁護士法律事務所への同行支援

○制度利用に向けた支援

- ・自治体、事業所等との徴収免除や猶予、分割納付などの相談や申請等の支援
- ・家賃や税金、公共料金の滞納の解消の支援
- ・公的制度の各種給付制度などの利用に向けた支援



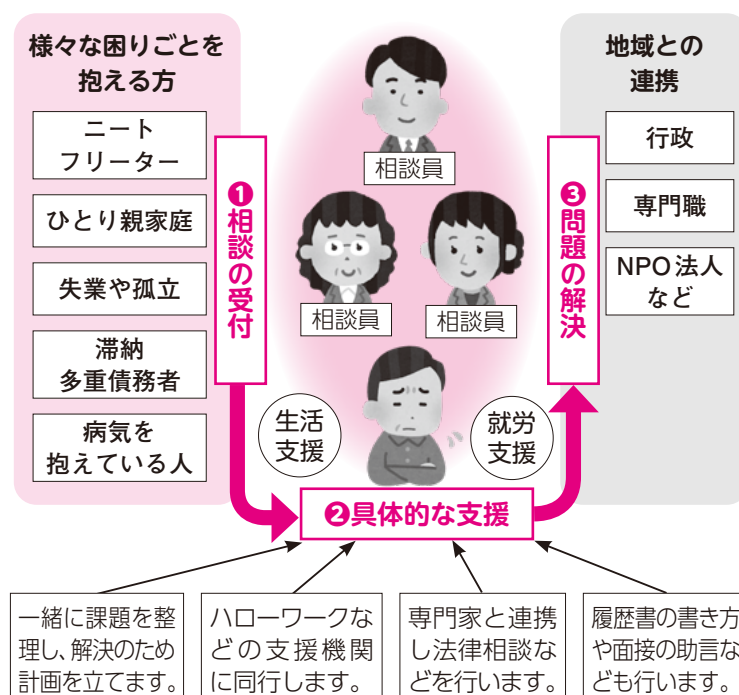
お気軽にご相談ください

ご本人やご家族はもちろんのこと、ご近所の方で生活に困窮している方がいる場合は、自立相談支援室をご紹介します。自立相談支援室に相談に来ることができない場合は、ご自宅に訪問することも可能です。困っているときには誰かに伝える、聞いてもらうことが課題を解決に導く一番の近道になりますので、ご相談をお待ちしております。

【問合せ】

自立相談支援室(8:30~17:00)
水戸市役所(2F)
☎029-291-3941(直通)

自立相談支援室ご利用の流れ



共同募金が始まりました

10月1日から赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まりました。水戸市共同募金委員会(事務局：水戸市社会福祉協議会内)では、1日のオープニングセレモニーを皮切りに、1日・2日・5日・6日の4日間、水戸駅・赤塚駅で街頭募金を行いました。

多くの募金ボランティアの皆さまのご協力により、街頭募金には、たくさんの方々が足を止め募金をしてくださいました。心から感謝申し上げます。

皆さまからお寄せいただいた募金は、様々な福祉活動や災害支援等に役立てられます。共同募金運動は3月31日(月)まで実施しています。

【問合せ】：水戸市共同募金委員会
(水戸市社会福祉協議会内) ☎029-309-5001



(上)高橋市長をはじめ、ロボスケたちが共同募金に参加しました

(下)水戸駅北口での街頭募金の様子

福寿のつどい

～出会い ふれあい ささえあい 感謝とともに～

市内34の社協支部では、9月から12月にかけて「福寿のつどい」を開催しました。この事業は、令和4年度より「敬老会」の後継事業として始まりました。「～出会い ふれあい ささえあい 感謝とともに～」をキャッチフレーズに、各地区の対象者に向けた新たな敬老慶祝事業です。

参加した皆さまにお楽しみいただけるよう、各地区で趣向をこらした催し物が行われました。

来年度も各地区で開催されますので対象となられた方は、ぜひご参加ください。

福寿のつどい対象者

4月1日時点で水戸市に住民登録があり、該当年度に満75歳、80歳、85歳、90歳以上になる方
(学校教育法に定める同一学年単位)



(上)ピンゴを目指して会話も弾みます(稲荷第二支部)

(下)津軽三味線の音色に合わせて手拍子(河和田支部)

「大成女子高×みのり」 コラボパン作りました

9月13日(金)、14日(土)、大成女子高校で行われた「撫子祭」において、家政科の2年生が商品開発を行い、知的障害者就労支援施設みのりのドリーム班メンバーで焼き上げた「なでしこパン」と「ソーセージパン」を販売しました。

家政科の生徒の皆さんで、校内生徒の好みをアンケートし、何度もレシピを考え、試作を重ねて完成にこぎつけました。ドリーム班では、「撫子祭」に向けた試作、当日のパン製作を担いました。

米粉を使ったパンは、生徒の皆さんから「ふわふわしていておいしい」との声が上がりました。

なお、この2種類のパンは、「第36回愛パーク祭」においても、高校生が売り子となり販売しました。利用者と生徒の交流のひとつとなりました。



「なでしこパン」



「ソーセージパン」



撫子祭での販売の様子

第36回愛パーク祭



11月9日(土)、水戸市総合福祉作業施設「愛パーク河和田」にて、愛パーク祭を開催しました。天候にも恵まれ、800名を超える参加者で会場はにぎわいました。

ステージ発表や自主製作品の販売、団体による模擬店、ワークショップ、大ビンゴ大会などを行いました。

様々な催し物を通して、愛パーク利用者の皆さんが、地域やボランティアの皆さんと出会い、ふれあう機会を持ち、楽しむ場となりました。

ご協力いただいた皆さんに心より感謝を申し上げます。



第55回水戸市社会福祉大会

10月23日(水)、水戸市民会館において「第55回水戸市社会福祉大会」を開催しました。受賞者の皆さまの他、多くのご来賓の皆さまのご臨席を賜り、また、民生委員、社協支部役員や本会関係者などたくさんの方々にご参加いただきました。

顕彰の部では、地域福祉の推進に尽力された方や福祉活動に励まれた方など、個人53名と4団体へ表彰状、感謝状をお渡ししました。

また、講演の部では、弁護士の大胡田誠様に「全盲の僕が弁護士になった理由(わけ) ～あきらめない心の鍛え方～」と題して、ご講演をいただきました。参加された皆さまは、熱心に講演に耳を傾けられ「障害者の方が大変な生活をしていることを、身に染みて感じた」「私たちにもできることがあると気づかされた」などの感想をいただきました。

水戸市社会福祉協議会は、顕彰された方々をはじめとした福祉向上のためにご尽力されている皆さまとともに、地域の中で支え合う地域づくりの取り組みを、今後なお一層進めてまいります。



—顕彰受賞者のご紹介— (敬称略)

表彰状

○多年にわたり民生委員・児童委員・主任児童委員として地域福祉の推進に貢献(1名)

松枝道子

○多年にわたり社会福祉団体役員として会の運営発展に貢献(7名)

野中秀子 岡見京子 麻植收 莊司良一 高丸千枝 白澤昭 山内繁

○自立した生活が他の模範と認められる障害者手帳保持者(6名)

稲村洋志 藤枝昇 大内博人 矢内次男 黒川良 坪健司

○多年にわたりボランティア活動を通して地域福祉の推進に貢献(3団体・5名)

SmileEyes 自由が丘長寿会 ほほえみ 郡司典子 横山猛・紀子 中島豊 藤咲はるみ 出縄将英

○多年にわたり社協関係役員等として会の運営及び地域福祉の推進に貢献(22名)

小野瀬茂雄 宮野康平 飛田寿枝 中村秀晴 高野秀樹 岩間勝利 寺門正秋 水谷幸子 杉下赫子
小野瀬桂子 乾武彦 田山靖弘 國府田敬二郎 中山一美 大津良一 井川恵禎 山田浩行 小貫英雄
立川力 播田実ひろ子 綿引健 矢代美智子

感謝状

○社協、福祉施設・団体に協力共助し社会福祉の増進に貢献(1団体・11名)

常陽ボランティア倶楽部 木村朋子 莊司ひで 横川洋一 長岡興
寺門正廣 遠西弘 堀井武重 川又一郎 中島弘友 山崎百合子 岡田浩

褒状

○ねたきり・認知症高齢者、障害者(児)の介護者(1名)

高安睦子



みなさまのご芳志ありがとうございました

ご寄付は福祉施設等に有効に活用させていただきました。

水戸市社会福祉協議会

令和6年8月～10月受付分(敬称略・順不同)

寄付金(社会福祉事業に)

黒滝三男/歌を楽しむわかばの会/ミュージックベル28[♪]響(ひびき)_♪/会沢実/荘司良一/川又敬子
/金沢はるみ水戸市民センター活動40周年記念大会「みんなで歌おうカラオケ交流会」/大成女子高等
学校/与三郎庵/水戸シニアアンサンブル/コミュニティカラオケ福祉団体「納豆の会」/齊藤秀雄

(令和6年度累計額 1,068,204円)

使用済み切手・プリペイドカード類・物品等

水戸更生保護女性会/(一社)地域防災活動支援協議会/混声合唱団コール水戸/(有)カネミツ
商会/ディライトホーム/水戸市シルバー人材センター手芸サークル/伊澤タオル(株)/水戸市
シルバーリハビリ体操指導士の会笠原支部/水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会見川支部/
うつぎざき梨園/(一財)茨城県社会保険協会/水戸保護観察所社会貢献活動係/シルバーリハビ
リ体操指導士の会中央支部/(株)匠建築研究室/サークル・点心/みと東部特別養護老人ホーム/
NPO法人スリーアール茨城/富岡ゴム(株)/水戸要約筆記サークル萌/茨城音訳友の会/水戸市
母子寡婦福祉会/(株)こしば/石川げんこつ(有)ONE TEAM/たまり場かねた/水戸中央
郵便局/菊池モーター(有)/梅が丘女性会/水戸末広郵便局/(一財)水戸市商業・駐車場公社/
中妻地区土地改良区/水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会西部支部/三浦の文具/
イトランド(株)水戸営業所/ともに歩む認知症の会・茨城/水戸市社会福祉協議会妻里支部/
(公社)茨城県隊友会水戸支部/シルバー人材センター女性委員会/園芸ボランティア
「花hana」/NPO法人すだち/関東ビルサービス(株)/(学)関根学園みどり幼稚園父母の会/水戸
おもちゃクリニック/(株)アンカースタッフ/いばらきコープ生活協同組合/手話サークルたんぽぽの会/
笠原女性防火クラブ/朗読ボランティアひびき/手話サークルしあわせ会/ばるーん・レインボー/
水戸市社会福祉協議会緑岡支部/NPO法人水戸こどもの劇場/ベルサポ/YELL建築設計
事務所/ボランティアコスモス/(公財)茨城県教育財団/(株)フジクリーン茨城/中沢池愛護会/
水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会東部支部/(株)杉山商店/葉山荘俳句会/城東女性会/
リカーズこむろ/坂場和美/市川由里子/平原芭南乃/飯村健一/後藤栄子/中村和子/
会沢実/木村芽衣/野村かおり/萩原テルアキ/井坂東志行/曾根孝次/宮下かし子/
小田倉秀子/島田悠生/島田悠志/黒澤義男/高野恭子/菊池秀男/和田邦彦/荘司良一/
自見知子/梶山里子/須崎明美/笠原安子/遠西易子/田口三智子/武石佳奈/小倉洋子/
鈴木立夫/北原レイ子/雑賀大介/中村朝子/浦島一郎/坪美子/外岡健夫/植田公子/
佐藤みのり/阪場園男/坂田曜子/横川洋一/中丸淳/川村和雄/小柳万里子/國井敏子/
池田洋子/永井光一/齊藤ひさ

〈物品をいただきました〉



(一社)地域防災活動支援協議会様

〈寄附金をいただきました〉



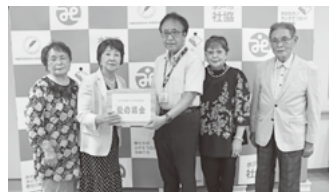
歌を楽しむわかばの会様

〈寄附金をいただきました〉



ミュージックベル28[♪]響(ひびき)_♪様

〈寄附金をいただきました〉



金沢はるみ水戸市民センター
活動40周年記念大会
「みんなで歌おうカラオケ交流会」様

〈寄附金をいただきました〉



大成女子高等学校様

〈物品をいただきました〉



いばらきコープ生活協同組合様

〈寄附金をいただきました〉



コミュニティカラオケ福祉団体「納豆の会」様

広報紙編集委員から



市では、市政情報をお届けしている「広報ひとと」を、10月から全面リニューアルしました。情報を種類や対象ごとに分類して掲載したり、シニア向けのページは文字を大きくしたりと、必要な情報の探しやすさ、記事の読みやすさを大切にしました。

また、若い世代の方にも気軽に読んでいただけるように、「広報みと digital plus」の配信を開始し、旬な情報を月3回お届けしています。主に市公式LINEからご覧になれますので、こちらもぜひご活用ください。(寺門 久美子 記)

編集発行 水戸市社会福祉協議会広報紙編集委員会
社会福祉法人水戸市社会福祉協議会
〒311-4141 水戸市赤塚1-1
(水戸市福祉ボランティア会館内)
TEL 029-309-5001
FAX 029-309-5525
URL <https://www.mito-syakyo.or.jp>
E-mail syakyo@mito-syakyo.or.jp





ボランティアセンター だより

問 合 せ ・ 申 込 み 等

水戸市社会福祉協議会ボランティアセンター
〒311-4141 水戸市赤塚1-1(水戸市福祉ボランティア会館内)
TEL 029-309-1011 FAX 029-309-1139
<https://www.mito-syakyo.or.jp>
Eメール bora@mito-syakyo.or.jp
月曜日～金曜日 9:30～16:30



小さな芽 大きく咲かせる ボランティア

「ソーイングボランティア養成講座」を開催しました!

9月12日(木)・19日(木)の2週に渡り、水戸市福祉ボランティア会館において、児童福祉施設の乳児院などで使用する縫製品(食事用エプロン、乳児用ミトンなど)を作成し、届けるボランティアグループ設立を目的とした「ソーイングボランティア養成講座」を開催しました。

1日目は、日本赤十字社茨城支部乳児院の職員の方に「乳児院の役割について」、現在ボランティアとして活躍されている方々に「ボランティアをはじめたきっかけ」や「ボランティアをととしての生きがいづくり」の題目でお話をいただきました。

また、班に分かれてのミシン作業を行い、食事で使用するフェイスタオルを半分に折り、その中にゴムを通した「タオルエプロン」づくりを体験しました。

2日目は、「会則」、「予算・活動計画」作成などグループ立ち上げに向けての話し合いが行われました。

現在、来年度の設立に向けて定期的に受講者とボランティアセンター職員が打ち合わせを重ねています。将来的には、病院や福祉施設で使用する介護用縫製品の作成、ぬくもりのある裁縫作品など、趣味・特技として縫製や裁縫の技術が幅広く活かせる活動を目指します。



おもちゃドクター 養成講座のご案内



あなたも壊れたおもちゃを直し、こどもたちの笑顔とモノを大切する心を育む“おもちゃドクター”になってみませんか?

【入門編】

- ◇修理に関する基礎知識について
- ◇おもちゃ修理工具、回路テスターの使い方など

日 時 令和7年3月15日(土)
10:00～16:30

場 所 水戸市福祉ボランティア会館

対 象 者：市内在住でおもちゃの修理、ボランティア活動に関心があり、両編に参加可能な方

定 員：8名(電話受付/先着順)

受 講 料：3,000円程度(テキスト及び教材費込み)

申し込み：令和7年2月12日(水)～受付開始

主 催：水戸おもちゃクリニック



【実習編】

◎おもちゃクリニックの運営手法、検査機器の製作、実際のおもちゃを用いた修理実習など

日 時 令和7年4月～6月(計6回実施)
13:00～16:00

場 所 水戸市福祉ボランティア会館
(第2・4金曜日)
いきいき交流センターふれしあ
(第3金曜日) 吉沢町850

